

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋食肉市場株式会社】

経営健全化方針の記載内容	令和4年度の取り組み結果
[市] 債務超過解消のために市支援や経営改善の指導を継続する。	債務超過解消の早期回復に向けて経営改善の指導を行うとともに、新型コロナウイルスによる経営への影響を注視しながら、特別集荷促進事業補助などの支援を行った。
集荷経費の削減 - 出荷奨励金等の引き下げを出荷者と調整し、経費の削減に取り組む。 - 出荷懇請による集荷を強化する地域について、輸送経費助成など集荷経費の負担が大きい遠方から、集荷経費の負担が少ない近隣へシフトしていくことにより、利益の増加を図る。	- 経費は、飼料や燃料の高騰などにより増加した。 - 近隣からの集荷を行うとともに、買参人のニーズに合わせ鹿児島・宮崎などの遠方からの集荷を行い、頭数を確保した。
新規事業の検討 - 卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益を拡大するため、国の推奨する輸出事業やITの活用の可能性を含め、新規事業への取り組みを検討する。 - 新たに部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性向上、新規買参人の開拓を図る。	- 誘致した大手食肉業者関連からの出荷を要請し、頭数を確保した。 - 部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性の向上に努めた。
人件費の抑制 正規職員数を見直し、嘱託・臨時職員を活用することで人件費の抑制を図る。	常勤職員は1名の中途採用を行い、人員の確保をした。なお、非常勤職員は1名退職した。
ブランド牛の活用 出荷者・買参人を交え、ブランド牛の強化に取り組み、取引単価の上昇・市場価値の上昇を図る。	みかわ牛や鹿児島・宮崎などのブランド牛の集荷に努めることにより、市場価値の上昇に努めた。
その他 引き続き、資金需要に応じた借入による支払利息の縮減、販売管理費の節減など経費削減に取り組むとともに、与信管理強化による債権管理につとめ、出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組む。	- 資金需要に応じた借入をし、支払利息の縮減に取り組んだ。 - 与信管理を強化し債権管理に努めた。 - 取扱高の確保に努めた。

団体名(名古屋食肉市場株式会社)

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産総額	3,482,618	2,977,778	3,050,593	3,000,345	3,123,414
負債総額	4,532,066	3,919,508	3,878,077	3,691,128	3,662,634
純資産総額	▲ 1,049,449	▲ 941,730	▲ 827,484	▲ 690,783	▲ 539,220

(損益計算書から)

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益	7,102,783	6,720,117	6,136,305	6,168,380	6,598,305
経常費用	6,894,376	6,576,860	5,983,167	5,968,878	6,401,049
経常損益	208,407	143,257	153,139	199,502	197,256
経常外損益	48,282	12,771	13,567	▲ 2,800	27,907
当期純損益	186,609	107,718	114,246	136,702	151,563

○財政的リスクの状況

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
債務超過額	1,049,449	941,730	827,484	690,783	539,220
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
標準財政規模(B)	644,498,894	646,827,243	654,510,356	673,008,099	664,266,118
(A)／(B)	0.56	0.56	0.55	0.53	0.54